

# 日本語の学び方を考える

足利市立教育研究所 ジェムーズ P. ボイド

## 1. はじめに

私は一年半前にアメリカから日本に来ました。そして足利市や佐野市で英語指導助手として働いています。大学で日本語を勉強しましたが、日本に来たばかりの時、「お手洗いはどこですか」ぐらいしか言えませんでした。それ以来、一生懸命いろいろな方法を使って日本語を勉強してきました。その体験を通して、日本語学習の問題について考えてみました。

## 2. 日本語を学びたい人が抱える特別な問題

日本語を学びたい人にとって問題はたくさんあります。日本語を上達させるためには、表現、助詞、文法などを習得しなければなりません。しかし、ここ一年半の自分の体験を顧みると大きな問題は上に述べたことはありませんでした。この論説では自分の体験によって気付いた特別な困難だけを分析することにしました。私の場合、思い当たったのは次の二つです。

### (1) 漢字の問題

漢字は日本語を勉強している人にとって特別な問題です。ある人が外国語を習おうとする場合は、本や新聞記事などを読むことによって、その外国語の力を簡単に高めることができます。それは何かを読む時、他の人を頼らないで自分の力で知らない単語を辞書で調べたり、文脈から言葉の正しい使い方が理解できるからです。もちろん読書だけでは外国語は上達しませんが、読書は他の方法と一緒に、一つのよい勉強の仕方です。ところが、日本語の場合、漢字があるので読書をすること自体が難しいのです。日本語を読むために仮名、単語、表現、助詞、文法などの他に、漢字を二千字も覚えなければなりません。本当に大変なことですから、漢字を諦めて日本語の会話ばかり勉強していくと思う外国人が多いと思います。

### (2) 「国際化」の問題

十五年ほど前、他の先進国から批判を浴びるようになった日本は、経済大国としてだけではなく国際感覚を身につけるようにいろいろと努力して頑張ってきました。しかしながら、日本語を学びたい人の視点から日本の国際化をみると重要な問題が見られます。次にこの問題を取り上げたいと思います。

今日の日本では英語がよく勉強されています。中学校でも高等学校でも大学でも英語の授業があります。英会話スクールもいっぱいありますし小学生も塾で英語を习います。そのように英語教育が強調されているため、国際化というのは英語の勉強を意味すると思ってしまう人がいると思います。主に英語で国際化を図ろうとしている日本は、日本についてもっと勉強したいと思っているたくさんの外国人にとって大きな問題を抱えていると思います。例えば、中学や高校の時に英語を勉強した日本人は、外国人に会ったら英語で話しかけなければならないと思っているようです。おかしなことですが、私がずっと日本語で喋っていたのに相手はずっと英語で答えていたという経験をしたことがあります。私たち外国人にとって日本人と日本語で話す機会を多くもたないと日本語が上手にできるようになりません。要するに、英語をよく勉強している日本社会は、国際化を推進していると同時に、外国人から日本語を通して日本を知る機会を取り上げてしまっているとも言えます。

現在、教科書が日本語能力試験を受ける人に、この翻訳文は標準的な自分の意見を申請する用語だ。今後、これがこれまで化学専門家が運行する日本語能力試験で、日本の論理能⼒を測る重要な要素となるべきだ。

四·九·三

「国际化」の問題に対する考え方を示すと、まず最初に現状を「日本文化の海外への影響力」として分析する。この段階では、日本文化が世界にどのように影響を与えてきたか、その影響の範囲や内容について述べる。次に、その影響がどのように受け取られるか、つまり「日本文化の海外での評価」として分析する。この段階では、日本文化に対する海外の反応や評価、特に西欧諸国での評価について述べる。最後に、日本文化の海外への影響がどのように変化しているか、つまり「日本文化の海外への影響の変遷」として分析する。この段階では、日本文化の海外への影響がどのように変化しているか、また、その変遷の原因について述べる。

(2) 「國際化」の問題についての議論

(1) 漢字の認読の発達

日本語を学ぶ人々と、漢字の知識の大要が何であるかを解説する筆者。漢字の大要は、漢字の学習方法、漢字の学習効率化、漢字の知識構成、漢字の知識の基礎、漢字の知識の発達、漢字の知識の応用などである。漢字を習得するためには、記憶力、理解力、表現力、創造力、思考力、問題解決力などの要素が不可欠である。漢字を習得するためには、記憶力、理解力、表現力、創造力、思考力、問題解決力などの要素が不可欠である。

(1) 漢字の勉強の發達

3. 功果的女魔魔法